

ウイルス感染に関わるポイント

1、マスター・ウイルス・リフレックス(ウイルス反射点)

- ・へその直下(約1cm)がリフレックス。
- ・リフレックスをブラッシングした後に、関連する臓器のリフレックスを上からアームテストしていき、反応があったところが感染源である。

2、マスター・ラング・リフレックス:肺(呼吸器)反射点

- ・胸骨上端から下へ約5cmがリフレックス。
- ・喫煙者や喘息罹患者、慢性の咳がある者、などでも反応する。

3、中府穴:ちゅうふけつ

- ・烏口突起から下へ約3cm(雲門穴の下1寸で華蓋穴の外6寸)が経穴位置。
- ・肺経の募穴:肺氣が集まるところで、陽病(熱病)によく効くとされる。
- ・CRAでは、肺の炎症のリフレックス。

4、孔最穴:こうさいけつ

- ・手関節前面横紋桡側から上へ約21cm(太淵穴から上へ7寸)が経穴位置。
- ・肺経の郄穴:骨や筋肉の隙間にあり、急性病や疼痛によく効くとされる。

5、華蓋穴:かがいけつ

- ・第1肋間正中線上が経穴位置。
- ・肺に関わる疾患によく効くとされ、DKS療法では胸腺(免疫)ポイント。

6、期門穴:きもんけつ

- ・第6肋間乳中線上が経穴位置。
- ・肝経の募穴:肝臓疾患によく効くとされる。
- ・肺炎や気管支炎による激しい咳にも用いられる。

